

今までの取組み例

ボート川下り体験教室+県購入ゴムボートによる河川巡視

日時：平成24年10月13日(土)午前9:00~11:00
午後13:30~15:30

場所：沈下橋~九十九橋

主催：環境文化研究所、ドラゴンリバー交流会、福井県

参加者：42名(33名+スタッフ9名)

内容
新しい公共の場づくりモデル事業にて実施。参加した親子は、インストラクターによる指導のもと、オールを使い方を学び、ボート川下りを楽しみながら学んだ。途中、中洲において水切りや石遊びなどのネイチャーゲームも行った。
また、県が購入したゴムボートによる河川巡視も併せて実施した。



読売新聞 (H24.10.19)

川の安全な遊び方や自然の豊かさを知らずとも、おらと感懐市の市民団体環境文化研究所が、福井市勝原の足羽川で小・中学生を対象にした川下りを開催。小中学生と保護者ら33人が川遊びに詳しいトレーナー4人から川遊びの心得を教わった。ライフジャケットなどを身に着けた参加者は前後半に分かれて、ボートと楫、トレー

怖さ知れば川は友達

「ナードと分業。途中の中洲を見せた。県内では8月に水では「靴を履いて川に入れば、平等町の九郎蔵川で人が死流さねない」など助言を受け、土着の水難事故起りながら、川の中を歩いたり、石投

小中学生ら33人 遊び体験 福井

「4人は川で危険を判断する流ま川遊びを楽しんだ。ためには川遊びの経験と正しい市目、再小4年鈴木悠斗君、い知識が必要。体験をうか(10は「川遊びは初めて。こけに安全に遊んでほしい」とんなに楽しんでいた」と笑顔、話した。

●ボートで足羽川の魅が参加。午前と午後に分力再発見。足羽川をボート、板垣橋右岸から九ト下りながら、川と周十九橋まで約2.5km、それ辺の自然観察を体験。それ10人乗りゴムボート、会が13日、福井市の板垣、2隻の時間かけ下った。橋下流から九十九橋にかけて行われた「写真、親子が普段慣れない川からの景色を楽しんだ。

市民団体の環境文化研究所(勝原市)とNPO法人ドラゴンリバー交流会(福井市)、県が開いた。市内の小・中学生年とその親を合わせて32人

福井新聞 (H24.10.20)

